

視覚障がい教育研究部会の取組

視覚障がい教育研究部会では、宮崎県立明星視覚支援学校と、宮崎市立大淀小学校、日向市立大王谷学園中等部の各弱視特別支援学級が連携しながら視覚障がい教育の充実を目指して活動しています。今年度は、研究テーマを「未来につなげる明星教育～授業力・指導力向上を目指して～」とし、会員の専門的知識及び指導力の向上を目指した合同研修会を実施しました。

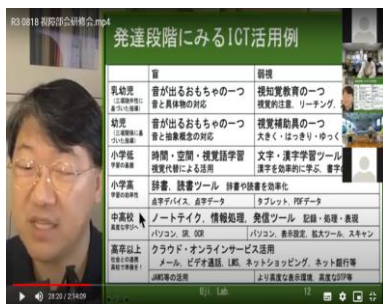
以前は弱視特別支援学級担任が明星視覚支援学校へ来校し、直接意見交換をしたり研修に参加したりしていましたが、コロナ禍においてはオンライン上での意見交換会や研修会への参加という形に実施方法を変更しました。昨年度は、オンラインに不慣れなところもありましたが、今年度はスムーズに運営することができました。以下、詳細を報告します。

【第1回合同研修会】「情報交換会」〈4月〉

4月に行っている本部会の代議員会の後、意見交換会を実施しました。これには、明星視覚支援学校の特別支援教育コーディネーターも参加し巡回相談や電話相談における内容と結びつけながら、児童生徒への指導において困っていることや取り組んでいること等について情報を交換することができました。また、昨年度は、弱視特別支援学級担任からの要望により明星視覚支援学校の授業参観及び事後研究会を行いました。今年度は授業参観等を行いませんでした。各校の課題や悩みについては、明星視覚支援学校との巡回相談や電話相談にてその都度解決していきました。

【第2回合同研修会】「視覚障がい教育研究部会夏季研修会」〈8月〉

広島大学大学院 准教授の氏間 和仁（うじま かずひと）氏をリモート招聘し、『視覚障がい教育における情報教育の必要性とその活用』と題して講演会を開催しました。講師と本校内外の参加者をリモートでつなぐ形式で実施しました。参加者からは、「発達段階に応じた指導方法が大変参考になった」、「情報活用能力をそれぞれの発達段階で高めていくことの意味や教師としての関わり方、学校を卒業した後の社会生活を見据えた情報活用の指導の必要性など大変わかりやすい講演だった」等の感想がありました。また、氏間准教授の研究室の学生から、『視覚障害者向けのジェスチャー練習アプリの開発』と題した研究発表もあり、大変充実した研修会となりました。弱視特別支援学級のうち一校は参加できなかったため、講演の様子を録画したものを送付し、情報共有を図りました。



氏間 和仁(うじま かずひと)氏

教育・福祉関係等 約50名参加

現役学生からの研究発表

【第3回合同研修会】「意見交換会」〈2月〉

本年度の振り返りと共に次年度の合同研修会の在り方について協議しました。明星視覚支援学校における校内研修をさらに積極的に情報発信し、弱視特別支援学級担任にはオンラインを活用した参加を促すことにより情報共有を図ること、その前後の時間に明星視覚支援学校の特別支援教育コーディネーターを交えた相談会を開くことで対象児童生徒のよりよい支援・指導方法を探ることを確認し、次年度の見通しをもつことができました。